

BRAF遺伝子変異陽性かつMSI-Hの大腸癌に対してのPembro療法後にENCO+BINI+CET療法が著効した1例

Author 赤井涼子、吉田憲司、橋本知世、戸口尚謙、中山博文、矢吹直寛

Source 日本臨床腫瘍学会 学術大会2025(2025.3)

急性期病院における大腿骨近位部骨折患者に対する骨粗鬆症治療の実施状況と薬剤師の役割

Author 宮下諒、清水裕、吉田憲司、野間将太、米本直史、高梨緑、矢吹直寛

Source 第34回 日本医療薬学会年会(2024.11)

病院薬剤師のポリファーマシー介入後の減薬維持の課題

Author 矢吹直寛、清水裕

Source 第65回全日本病院学会in京都(2024.9)

薬剤師の心電図判読が抗不整脈薬の減薬につながった2例

Author 羽中田裕矢、清水裕、吉田憲司、矢吹直寛

Source 日本病院薬剤師会関東ブロック会 第54回学術大会(2024.8)

薬剤調整加算・薬剤総合評価調整加算の件数増加に向けた取り組み

Author 山崎美和、清水裕、吉田憲司、羽中田裕矢、戸口尚謙、平井優治、阿部つぐみ、澁谷早香、松村レミ、布田千尋、坂井美涼、矢吹直寛

Source 日本病院薬剤師会関東ブロック会 第54回学術大会(2024.8)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける薬剤管理サマリーを用いた薬薬連携の実情と課題の検討

Author 太田有香、清水裕、吉田憲司、宮下諒、高橋琴音、矢吹直寛

Source 日本病院薬剤師会関東ブロック会 第54回学術大会(2024.8)

病院薬剤師のポリファーマシーへの介入後の課題

Author 矢吹直寛、清水裕

Source 第26回日本医療マネジメント学会学術総会(2024.6)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける血液透析患者へ薬剤師の診察前面談の取り組み

Author 清水裕、矢吹直寛

Source 第26回日本医療マネジメント学会学術総会(2024.6)

薬剤耐性アクションプランの目標達成に向けた市中病院での取り組みとその成果

Author 米山舞子、清水裕、吉田憲司、宮下諒、太田有香、矢吹直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第53回学術大会(2023.8)

彩の国東大宮メディカルセンターでのトレーシングレポートによるインシデント回避事例

Author 清水裕、矢吹直寛

Source 第25回日本医療マネジメント学会学術総会(2023.6)

ニボルマブ+イピリムマブ療法による間質性腎炎に対してプレドニゾロンを導入し、漸減・中止後に副腎不全が起きた1例

Author 吉田憲司、橋本知世、赤井涼子、高木賢治、八木一騎、岡田栄子、矢吹直寛

Source 臨床腫瘍薬学会学術大会2022(2023.3)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける「退院時薬剤情報連携加算」の取り組みと課題の検討 第2報

Author 清水裕、宮下諒、寺内香保里、高橋れな、矢吹直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第51回学術大会(2021.8)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける薬薬連携への取り組みと今後の展望

Author 医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部 1)、 彩の森薬局 2)

宮下諒1)、大野哲史2)、清水裕1)、織本桂1)、矢吹直寛1)

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第50回学術大会(2020.10)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける「退院時薬剤情報連携加算」の取り組みと課題の検討

Author 清水裕、宮下諒、寺内香保里、高橋れな、織本桂、矢吹直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第50回学術大会(2020.10)

Dr.JOYを利用した当院の医薬品情報業務効率化だけでなく、質にこだわる業務改善

Author 矢吹直寛(紹介発表)

Source 日本病院薬剤師会 第41回近畿学術大会(2020.2)

当院における簡易懸濁法手順の過去と現在の差から見える問題点

Author 医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部 1)、 日本薬科大学臨床薬学部門 2)

清水裕 1)、織本桂 1)、小笠原健人 2)、吉田拓海 2)、松村久男 2)、矢吹直寛 1)

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第49回学術大会(2019.8)

薬剤師の介入による減薬と入院期間短縮への可能性

Author 宮下諒、清水裕、野間将太、吉田憲司、織本桂、矢吹直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第48回学術大会(2018.8)

抗がん剤投与患者におけるB型肝炎再活性化に対する取り組みと評価

Author 高木美紀、寺内香保里、高橋梨奈、井口沙織、吉田憲司、野間将太、清水裕、織本桂、矢吹直寛

Source 埼玉県病院薬剤師会 第17回学術大会(2018.3)

国際病院評価機構JCI取得に向けた薬品管理業務の取り組み～ハイアラート薬管理を中心に～

Author 清水裕、阿部嗣子、野間将太、吉田憲司、織本桂、矢吹直寛

Source 埼玉県病院薬剤師会 第17回学術大会(2018.3)

Anamorelin and Conduction Defects: A Literature Review and Analysis of the Japanese Pharmacovigilance Database.

Author 矢吹直寛1, 佐古兼一2, 前田智司2, 井出直仁3

彩の国東大宮メディカルセンター薬剤部1 日本薬科大学薬学科臨床薬理学分野2, 日本薬科大学実践薬学分野3

Source In Vivo. 2025 Jan-Feb;39(1):404-410.

トレーシングレポートを利用したインシデント回避の事例報告

Author 清水 裕1, 石村淳2, 矢吹直寛1

彩の国東大宮メディカルセンター薬剤部1 日本薬科大学薬学科実践薬学分野2

Source 日本医療マネジメント学会雑誌 Vol25, No2, 136-140 (2024)

DPP-4阻害薬を服薬中の2型糖尿病患者がSARS-CoV-2mRNAワクチン接種後に水疱性類天疱瘡を発症した一例

Author 清水 裕1, 石村淳2

彩の国東大宮メディカルセンター薬剤部1 日本薬科大学薬学科実践薬学分野2

Source 日本くすりと糖尿病学会誌「くすりと糖尿病」12 (2) ,79-83 (2023)

NDBオープンデータを用いた歯科領域における抗菌薬の使用状況の調査

Author 矢吹直寛1, 石村淳2

彩の国東大宮メディカルセンター薬剤部1 日本薬科大学薬学科実践薬学分野2

Source 歯科薬物療法, 42巻2号 2023年8月4日受理

Anamorelin-induced QT prolongation

Author 清水 裕1, 安武夫2, 織本桂3, 矢吹直寛1

彩の国東大宮メディカルセンター1, 明治薬科大学薬学教育研究センター臨床薬学部門治療評価学2, 浅草病院3

Source Journal of Palliative Medicine 27-Jan-2023